

第9回笹川杯近畿少年少女空手道選手権大会 実施要項

- 1 大会名 : 第9回 笹川杯近畿少年少女空手道選手権大会
兼 第2回全日本少年少女空手道選抜大会選考会
- 2 主催 : 全日本空手道連盟近畿地区協議会
- 3 主管 : 奈良県空手道連盟
- 4 後援 : 公益財団法人全日本空手道連盟
- 5 会場 : 奈良県奈良市鴻池運動公園 ロートアリーナ奈良 (中央体育館)
住所 〒630-8108 奈良市 法蓮佐保山4-1-3 TEL 0742-24-1501
バス: ⑬バス乗り場「鴻ノ池」経由 下車 徒歩五分 近鉄奈良駅より徒歩二〇分

6 日時 : 2022/令和4年10月16日(日)

9 : 3 5	開始式
9 : 4 0	競技開始
1 5 : 4 5	競技終了
1 6 : 0 5	閉会式
1 6 : 3 0	解散

(注) 体育館は8時30分に開場しますが、予め各府県の座席は割り当てます。

7 種目 : 小学生1～6年生の男子・女子の形及び組手競技個人戦、府県対抗の男子・女子の団体組手戦、団体形戦

8 参加人員 : 学年別・男女別それぞれ4名を各府県代表選手とする。
団体組手戦のエントリーは、個人組手競技参加者で、補欠を含め各2名までとする。**団体形戦のエントリーは、個人形競技出場者に限定しない。**
監督・コーチを含め、次表のとおり参加数内訳とする。

ただし、今年度全日本少年少女空手道選手権大会の三位までの入賞者4名は、シード権を有する。シード権については近畿地区協議会及び主管県で協議し配慮する。

※ なお、同一選手が組手と形の両方に出場することは認めない。

種目	組手競技				形競技			
選手	男子	1年～6年	各4名	計24名	男子	1年～6年	各4名	計24名
	女子	1年～6年	各4名	計24名	女子	1年～6年	各4名	計24名
	男子・女子組手団体戦				男子・女子形団体戦			
	男子1チーム 女子1チーム	各府県4・5・6年 3人制1チーム ※但し、エントリーは、各学年2名まで可。			男子2チーム 女子2チーム	各府県4・5・6年より 3人制2チーム ※エントリーは、学年を問わない。		
	組手 計48名				形 計48名			
選手(男・女)計 96名								
監督	1名							
コーチ	5名 + 練習場所対応2名							
総人数	104名 ※団体形は別途考慮する							

9 競技規程

- (1) 競技は、公益財団法人 全日本空手道連盟（空手競技規定）により行う。
- (2) 形競技個人戦・団体戦
 - ① 各コートにて学年別男女別に行う。
 - ② 1回戦からベスト4まで
 - (ア) 旗方式（勝敗は審判員5名の赤・青旗の多数決）、2名同時に演武し、トーナメント方式で行う。団体戦は赤から1チームずつ行う。個人戦は斜め入り後待機。
 - (イ) 全空連基本形一～四（ゲキサイ第1、ゲキサイ第2、平安又はピンアン初段～5段）の中から選択することとし同じ形を繰返し演武することができる。
 - ③ 決勝ラウンド4名・4チーム
勝ち上がった4名（チーム）で抽選し、準決勝の相手を決める。
 - (ア) 旗方式で行い、赤・青帯で1名（チーム）ずつ演武する。
 - (イ) 全空連第1指定形、第2指定形、又は上記②(イ)の形でまだ競技していない形から選択することとし、同じ形を繰返し演武することができる。
- (3) 1 組手競技 個人戦
 - ① トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
 - ② 決勝戦は、各コートにおいて学年別男女別順に競技する。
 - ③ 競技時間は1分30秒フルタイムとする。
 - ④ 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。
- (3) 2 組手競技 団体戦
 - ① 小学4・5・6年生 男・女別 団体戦（3人制）各府県で各1チーム
 - ② 先鋒4年、中堅5年、大将6年とする。2名でも参加可能とし、その場合は学年を合わせる。
- (4) 安全具
 - ① 組手全種目に全空連検定拳サポーター、メンホー及びボディプロテクターを装着すること。（従来のリバーシブル、赤・青拳サポーター共に可。）
なお、安全具は選手各自において用意すること。すべての安全具の共用を禁止する。
 - ② 小学3～6年生男子組手出場選手は、必ずセーフティカップを装着すること。ただし、1年・2年生は所属の指導者（監督・コーチ）の判断に委ねる。
 - ③ インステップガード及びシンガードを全学年で装着すること。
 - ④ 安全具装着のない選手は出場できないので、十分注意すること。
- (5) 服装
 - ① 監督・コーチ用IDカードは、大会当日の監督会議で配付する。
 - ② 監督・コーチ・選手は競技規定にそった清潔な白の空手衣を着用すること。なお、左胸に府県名を入れること。（別紙ゼッケン・胸マークについての注意事項参照）
 - ③ 金属類のヘアバンド、ヘアピン等の使用は一切認めない。ヘアゴムは黒・茶系統とする。
 - ④ 青・赤帯は各自全空連での検定帯を用意し、着用すること。主催者では用意しない。

10 表彰

- (1) 総合優勝の府県への賞状の授与

男女別に総合得点の最上位の府県に対し、賞状をそれぞれ授与する。また、男女総合優勝府県に、優勝旗を授与する。得点及び順位決定は次による。

① 各種目の入賞者に次の得点を付与する。

1位 8点、2位 7点、3位 5. 5点（2名）、5位2. 5点（4名）

② 総合得点が同点の場合は優勝者の多い府県に授与する。

③ さらに同点の場合はすべてを同点優勝とする。

※ 前年度の男女総合優勝府県は、大会当日までに開催府県に優勝旗を返還するか、大会当日の9時までに会場受付へ返還してください。

(2) 組手・形ベスト8進出選手への賞状等の授与

優勝1名、準優勝1名、第3位2名、第5位4名

なお、対象となる選手は、必ず表彰式に参加すること。

(3) 表彰は各種目終了時にその都度行う。

(4) 表彰は、順位のみ発表し、得点は発表しない。（書類・放送共に。）

11 審判員

大会審判団は、公益財団法人全日本空手道連盟公認地区審判員をもって次により編成する。

(1) 審判長(主管府県) 副審判長(次年度開催主管府県) とする。

(2) 原則として、各府県が推薦した地区組手審判員以上及び地区形審判員以上の資格を併せて有する審判員を、各府県より12名ずつ大会審判員総数72名とする。

(3) 上記で各府県から推薦された有資格者が不足する場合は、主催の近畿地区協議会から別途依頼する。

12 安全対策

(1) 選手は、本大会1週間前以内に、各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。

(2) 傷害保険を、主催者側の負担により参加選手全員に付保する。

(3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。

(4) 保護者、監督又は選手本人において、出場選手が利用できる健康保険証を携行すること。

(5) 新型コロナウイルス感染予防のため

(ア) 審判員 フェイスシールド、マスク、手袋着用

(イ) 選手 マスク+組手：マウスシールド（メンホー口元に装着する）
マスク試合時にはマスクカバーに入れてつけなくても良い。

(ウ) 監督・コーチ フェイスシールド、マスク着用

(エ) 競技役員 フェイスシールド、マスク、作業に応じて手袋着用

※選手/監督コーチのマスクは白色・無地の不織布とし、フェイスシールドは各自持参のこと。審判員の手袋は奈良県連で用意する。

(オ) 観客は原則として無観客とする。ただし、保護者は1家族2名まで可とする。

(カ) 競技終了後の選手等は直ちに退館願います。午前午後で観客席総入れ替えする。

(キ) 体育館入場時にはチェックシートの提出が必要です。再入場時にも提出が必要です。忘れると再入場できません。練習会場にはチェックシートの提示が必要です。団体戦と個人戦出場なら二枚必要です。保護者も同様。

13 出場資格

(1) 出場選手、監督及びコーチは、(公財)全日本空手道連盟会員であること。

(2) 出場選手は、各府県連盟が選出した代表選手であること。

(3) 監督・コーチは、(公財)日本スポーツ協会公認コーチ1以上または地区組手審判員以上の資格を有する者であること。

14 出場申込

- (1) 1名1種目とする。(組手と形の重複は出来ない。) 但し団体戦は除く。
- (2) 選手出場費として1人 3,000円を納めること。
- (3) 府県対抗組手団体戦 男・女各1チームのみ 5,000円×チーム数
府県対抗形団体戦 男・女各2チームまで 5,000円×チーム数
- (4) 別途定める出場申込書を提出すること(原則として、選手名簿等は、エクセルファイルで作成したデータも併せてメール等で提出すること)。
- (5) 申込書の送付及び出場費送金先(振込口座)は次のとおり。

【 申込書送付先 】

奈良県空手道連盟 事務局長 藪野 隆雄
〒 633-0012 桜井市狛338
TEL&FAX : 0744-47-7679 MP : 090-2281-8332

[エクセルファイルデータ メール送付先]

奈良県空手道連盟 narakaratedo@gmail.com

【 出場費送金先 (振込口座) 】

銀行支店名	南都銀行	桜井支店
口座番号	普通	No.0923088
口座名義	奈良県空手道連盟 事務局 会計 藪野隆雄	

(注)出場費・広告費は、必ず府県連盟から一括してお振込ください。

15 申込期限 2022/令和4年9月1日(水) 必着(期限厳守)

16 協賛金 各府県ともプログラム広告費として、50,000円を協賛金とする。
協賛金は、選手出場費と合わせて収めること。

17 宿泊・弁当等 (1) 宿泊・交通費は自己負担とする。
(2) 開催府県による宿泊・昼食弁当の斡旋は行わない。

18 その他

- (1) ゼッケンは開催府県で作成し9月下旬までには各府県に送付するので、各連盟において査収のうえ、出場選手に配付すること。その際、ゼッケンが縫着されていないと参加できないことを告知し、しっかり全周縫い付けるよう指示すること。
- (2) 出場申込書提出後の選手の変更は認めない。
- (3) 参加府県チームは、必ず引率者を指名配置し、出場選手の掌握、荷物の監督等に当たらせ、円滑な大会運営、事故防止に協力すること。
- (4) この大会は全国少年少女選抜空手道選手権大会の出場者選考を兼ねており、近畿地区代表選手の選抜方法は第1回全国少年少女選抜空手道選手権大会の決定方法とする。
- (5) 判定間違いを防ぐために、記録主任を審判員資格のあるものを各府県より一名任命する。